

「五葉山の魅力」

五葉山自然倶楽部
創立10周年に寄せて

52

「五葉山にはカモシカがいるぞ」と、父からよく聞かされた。高校卒業とともにふる里を離れて四十年も過ぎた今も「五葉山」カモシカの山」と直結する。

最近、畑がカモシカに荒らされて云々と聞く。五葉山のカモシカが餌が足りなくて下りてきたなと思う。

私が現在住んでいる宮城県丸森町内に、自宅から車で三十分くらい走った所にある手倉山(標高六七二メートル)にはブナの大生林がある。

とらしい。昔よりその面積は縮小しているところ。直径一メートルの木もあると聞く。近くにモミの保護林もある。

また、シロヤシオが群生していて、五月に花が咲く。以前一度見たことがあるが、それは新緑の中、高い木の上で白く清らかに咲いていて感動してしまった。

もう一度見たくて、五月に観察会の予定だったが、雨で中止になり、残念だった。後に知ったがシロヤシオはゴヨウツツジとも言われ、皇室の敬宮愛子内親王殿下の「お印」であるとのこと。本

当に素晴らしい。

私は残念ながら五葉山に登ったことがなかった。専門学校入学とともにふる里を離れてしまっ

子どもの足は強い。「頂上は」まあだ?と聞きながら、山の頂上に近いある残雪を指して「あの雪を食べようね」と、休まず登った。登ることより、雪が食べた

り、五合目に着いた時には皆ほこりまみれですごかった。思えば三十年も前のことである。今でもあのように再び富士山に登れるだろうか。

五月の連休に娘夫婦と孫を連れ、里に帰省した。多少風があつたが、孫を娘たちと交互に抱いて、気仙川のほとりをマ

カモシカは皆、麓に下りて来てしまったのかなと。【執筆者プロフィール】住田町世田米出身、五十九歳。平成十九年、丸森病院を退職。地域おこしとして直売所「小斎蔵の市」と加工部会飲食店「蔵っこ」にかかわる。義父の介護のこともあり、今春から老人保健施設「丸森ロイヤルケアセンター」に勤務している。

五葉山は心のふる里

宮城県丸森町 今野 市子

(その1) えている。

私の登山、というより山登りの経験は家族で出かけた栗駒山と安達太良山。栗駒山は紅葉見学として、安達太良山へは田

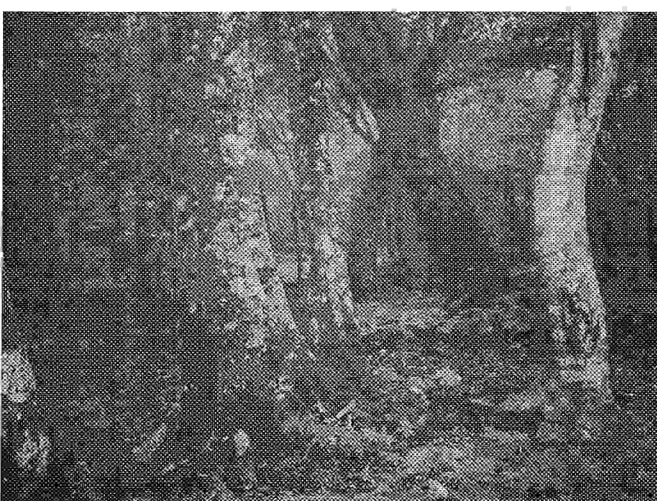
その他は職場の職員旅行で、那須の茶臼岳と富士山とがある。特に富士山は登る時にレモン二個も丸かじりで胃の中に消えた。

汗をかき、体にむち打ちながら頂に着いた時の達成感は何とも言えない。気心の知れた友人とともに登ればなおのこと。

私も機会があれば五葉山に登ってみたいと思っ

まだ登ったことがない五葉山。父から聞かされたカモシカはこんな森にいるのかも

エッセイ



まだ登ったことがない五葉山。父から聞かされたカモシカはこんな森にいるのかも